

中間試験

以下の架空の事実に基づいて、問に答えよ。

フランク国は、隣国のルマンダ国との間に領域・資源に関する紛争を抱えており、1960年代の建国以来、両国間にはしばしば武力紛争が発生していた。

2001年10月、大統領の「軟弱外交」を批判するジダン將軍によるクーデターによりフランク国政権が転覆し、ジダン大統領が就任を宣言した。ジダン政権は国土の8割以上に実効的支配をしているものの、いずれの国もまだジダン政権を承認していない。

対ルマンダ強硬政策をとるジダンは、残る国土の2割を支配するルマンダ系住民集団にルマンダが援助を与えているとして、ルマンダ国大統領ラウルに抗議書簡を送った。ところが、この抗議は黙殺された。

しびれを切らしたジダンは、ルマンダ系住民集団の長トッティを国家反逆罪で訴追し、軍隊を派遣して身柄を確保する旨宣言し、直ちに軍は動き出した。トッティは住民に抵抗を呼びかけると共に、ラウルに武器援助を求めた。ルマンダの支援を受けた地域住民集団の抵抗は強力で、死者が千名を越える内戦状態に陥った。

2002年2月、ジダンは国営テレビで演説し、「人間以下のルマンダ人は地上から抹殺されねばならない」と述べ、「軍隊構成員であろうがなかろうが、ルマンダ人浄化作戦に参加するのはフランク国民たるものの義務である」と主張した。その後、内戦は現在まで続いている。

このテレビ演説に気がついたベルジュ国の人権団体「SOSルマンダ」は、ベルジュ国検察にジダンを告発した。容疑は、上記テレビ演説が「人道に対する罪」、「戦争犯罪」及び「ジェノサイド罪」を構成するというものである。ベルジュ国は、これらの罪については、「地球上のどこで行われようとも」ベルジュ国裁判所で審理・処罰することができることと定める「ベルジュ人道法」を定めている。検察は、慎重な捜査の結果、4月にブリュッセン地方裁判所にジダンを上記容疑で起訴し、刑事裁判が開始された。

ジダンはこれに猛烈に反発し、以下の抗議文をベルジュ政府に送付した。

「フランク国内でフランク国人によってフランク国人に対してなされた行為につき、ベルジュの裁判所が口出しするのは許せない。一体この行為のどこがベルジュ国と関係するとい
うのか。現在国内に騒擾状態があることは認めるが、ベルジュ国民は何ら被害を受けていな
いではないか。しかも、私ジダンがフランクの大統領である。他国の大統領に対して刑事訴
訟を提起するとはとんでもない。」

ベルジュ政府は、フランク国に対し、「現在司法が問題を取り扱っており、権力分立の建前
上行政は何も言うことはできない」と返答すると共に、上記抗議文をブリュッセン地方裁
判所ならびに検察に転送した。

問 あなたは、本件を担当するベルジュ検察官である。ベルジュ国の裁判所が本件訴訟に
管轄権を持つことを主張せよ。

注意

- ・結論よりも理由付けが重要である。
- ・予想される批判にはあらかじめ答えておくこと。